

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 縄文

いろんな考えがあふく面白い
いろんな人がいるから楽しい

No. 685

2024年8月

編集・発行 鈴木厚正

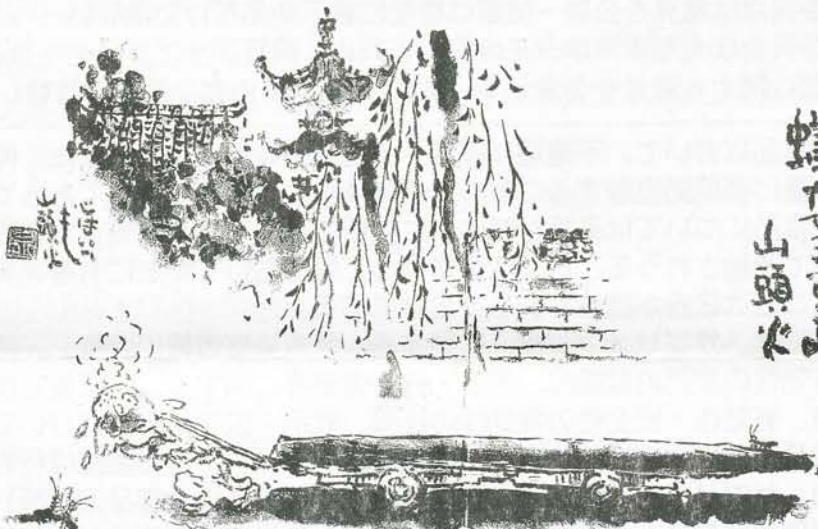
〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

	ページ	(以下、滞貨)	ページ
● 全の「健康食品」を対象にすべし	2	● 生成AI 深刻な電力消費	17
● 財政健全化に思う	3	● 立憲民主党に望む	18
● 「13歳からの地政学」他	4	● 横田基地にB52飛来	19
● 古便りから	8	● 2大国に衰退の影	20
● 山仕事(7月、大平・笠井屋)	13	● 原発と巡る欧州の動き	21
● “ (〃、上大同・大村邸)	15	● け・い・じ・ば・ん	22

泉ゆきを
日本習字普及協会



山頭火
あきき
蝶がまきす

題 字 放 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト 放 泉ゆきさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、海のいさものの⑧

山仕事(7月、大平・笠井屋)

最近のお出かけ4回すべてでJRの列車トラブに遭遇した。

7月10日(木)、遅れてはならじと30分早く家を出た。すると、順調に運行。ただし、体調はよくない。というより、体調の悪いのが常態になってしまったようだ。ゆくり湯につかりたい。

敷地駅で正士、久米さんに迎えられる。若林さんは所用でこの日目のみ参加との事。

買物の後、正士さんちに行く前に薄場のハス田を見に行く。使わなくなった田んぼに、竹中さんが竹でイノシシ防護柵をつくり、土を掘り、水を導き、30株ほど植えたのだ。それが美事に花を咲かせたのだから、驚く。桃瀬郷づくりが着々と進んでいるようだ。できればお手伝いしたい。

この日の天候は「降りみ 降らずみ」。初日、正士さんのつもりでは、もと養豚農家 佐野光信さんの家のまわりで草刈りというものだった。しかし、作業する側からすると、今日、作業衣がズブぬれになると翌日に困る。できることなら明日、まとめてやりたい。そうすればぬれても1日ですむ。正士さんと原田さんの話し合いで、今日はやめることになった。代わりに、あちこち清掃やら天井灯の拭き掃除を実施。

いつものように康江さん、久米さんが調べてくれた夕食を、お母さんと一緒に頂く。

(1) 刺身(アオアジ、タレ竹)、サバの梅煮、ベビーホタテと野菜のサラダ、康江さんの山口みやげの竹輪、カボチャのバター焼き、枝豆、冷奴にオクラとおかかめ。そして、そうめんを久米さんのだしとめしで。

内田美智子さんからお饅頭、尾上美智子さんからビールをいただいた。また、竹中さんと久米さんから、いろいろの野菜をいただいた。夕食にいただいた。

お饅頭に添えられた内田さんのメモ。「エイダン・チェンバース『二つの旅の終り』、イギリス カーネギー賞の本です。本を読み終ると、この本の題名『Post cards from No Mas's Land』の意味がわかります。ヨーロッパの若者がわかります」竹中さんに背中をマッサージしてもらい、久いりに皆さんと寝る。

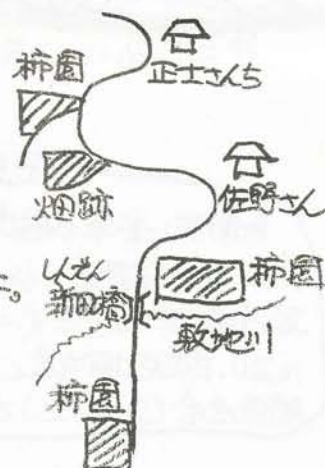
7月11日(木)、(木)、むし暑い。

あまり降らないようお願いしながら作業にかかる。正士さんちに近いうちから順に刈りながら下ってゆく。久米さんも参加。

10時、水窪から宇屋千鶴さん、熊谷道子さんがご馳走をもって見える。

昼食は、お母さん、青山さん、袴田さんも加わり12名で賑やかに。古希を迎える竹中さんの誕生月で、久米さんのタクトで♪ハッピーバースデーを合唱。

水窪に康江さん、久米さんの料理も加えて。



(昼) お稲荷さん、ポテトコロッケ、野菜のみそ炒め、キュウリの梅和え、同 梅肉和え、同ちようちん漬、バビ－ホタテの酒蒸し、ナスのフライ、トモロコシ(歯無しのため奥をはずして入れた)、水ようかん。

午後、新田橋そばの柿園草刈り。一昨年の敷地川の増水とインシのため、だいぶ荒れている。この先、柿園が使われるのは望みうすだ。草刈りによって外観は保たれるが、こうして柿園の實質放棄が進んでゆく。

このあと、下流の柿園の草刈りがあるが、ぼくは早上がりさせてもらう。丁度、水曜のお二人が帰るところだった。いつも、ありがとうございます。入れ替わりに久米さんが草刈り参加。夕方、久米さん、竹中さんの車に分乗して茨城の「あらたまの湯」へ。

(夕) 冷やしおでん、青山さんお持たせの餃子、バビ－ホタテの酒蒸し、キュウリの塩もみシラス和え、ニラ玉、豚肉とインゲンの梅炒め、カボチャ、煮、お稲荷さん。

夕食後、正士さんから体調の報告。体重は59.2kgであまり減っていないが、体力が少しずつ落ちている。各種検査の数値も、落ちてはいる一オよくなっているものもあるという。外での作業は控え、ゆったりした気持ちで過ごしてほしい。

7月12日(金)、降ったりやんだり。

久米さん、竹中さん、若林さんの車に分乗し、遠州灘にほど近い掛川市横須賀へ。昨年6月、「茶梅屋」として並井屋改装のため、近所の倉庫に預けてあった物品を、改装なった店内に戻す作業だ。古い民家と活かしながら、軽食や画飾、集まりの場ともなっていた。

生憎の雨の中、棚や台、タンス、テーブル、椅子などが運ばれてくる。その前に掃除を済ませており、主人の佳子さんが皆と相談しながらきめた位置に納めていく。

近くの店からとった「料理弁当」で昼食をとり、15時頃一般客。ぼくはひと足先に竹中さんの車で掛川駅へ。「こたま」は30分に1本なので、結局、あとの3人と一緒になる。

小田原と東江さんと、東京と原田、山崎さんと別れ、千葉駅までは順調だったが、大網～土気(とけ)間の人身事故で、帰宅は1時間近く遅くなった。

中二日おいて、7月15日は上大岡・大村邸の樹木整理へ。